



# 環境リスクPress

2026年1月発行／VOL.61

## アスベスト関連ニュース

### 岐阜県)ニチアス工場周辺のアスベスト被害に2750万円賠償(2025/9)

「ニチアス」の羽島工場(岐阜県羽島市)から飛散したアスベストが原因で、昭和42～54年周辺地域(300～350m)で働いていた男性が中皮腫と診断されて死亡し(平成30年に国に認定)、遺族が同社に損害賠償を求めている訴訟について、国の公害等調整委員会が同社に計2750万円の損害賠償を支払うよう命じる責任裁定を出した。公調委は、外部へのアスベスト飛散に関する格段の対策が同所で取られていなかったと指摘。アスベストを大量に飛散させる規模の施設は羽島工場の他になく、飛散した粉じんが中皮腫を発症し死亡したと認定された。

## 環境リスク関連ニュース

### 香川県)旧香川県立病院の解体現場から六価クロム検出(2025/11)

2009年3月に閉院となっていた旧香川県立津田病院(さぬき市津田町津田)の解体工事現場で、9月19日に地下水から国の基準を超える発がん性のある有害物質、六価クロム(1Lあたり0.04mg)が検出されたと、県が11月7日発表した。国の排水基準は下回ったが、飲用に適するかなどを定めた地下水環境基準の2倍だった。排水基準を下回っていたため、5km<sup>2</sup>を近くの用水路に排水したが、現在は排水を止めている健康被害は把握していないという。10月24日には同敷地内の地下約50cm地中から、注射器や輸血用機材、薬剤の容器のようなものなど医療器具44点が見つかった。埋められた時期や六価クロム検出との関係は不明という。解体工事は11月1日から中止し、今後、敷地内の土壌の汚染状況を調査する。市は、現場から半径500mの住民に周知し、飲用の井戸がないか確認するとしている。同所は、1960年に日本医療団の病院だった。

### 群馬県)ごみ山」土壌から基準値超フッ素(2025/12)

群馬県館林市の住宅地に近い複数の場所で長年にわたって廃棄物が山積みになっている問題で、12月19日、2カ所から県条例で定めた基準値を超えるフッ素が検出されたと発表した。県は10月22日に最初の立ち入り検査を行い、文書で撤去などを求める改善命令を出していた

## 環境リスク関連ニュース

### 北海道)釧路メガソーラー 工事再開目途立たず(2025/11)

ラムサール条約登録湿地である釧路高原(釧路市北斗)にて、日本エコロジー(大阪市)が進めるメガソーラー開発での問題について、釧路市教育委員会が国の特別天然記念物タンチョウへの影響を懸念した意見書を文化庁に提出してから約3カ月。森林法違反など複数の法令違反が発覚したことを受け、17日には文化庁の調査官が立ち入り調査する事態に発展した。北海道は改めて土壌汚染の有無を確認する再調査を要請となり、工事再開の目途が立っていない。

### 新潟県)太夫浜埋立処分地の地下水から基準値上回る鉛検出(2025/11)

新潟市は29日、北区太夫浜埋立処分地周辺の観測井戸4カ所の地下水から基準値(1L当たり0.01mg以下)を超える同0.019ミリグラムの鉛が検出されたと発表した。市は原因を調べているが、区画内の地下水からは検出されなかったことから、原因は処分地ではないと見ている

### 香川県)船の体育館の解体決定(2025/12)

建築家・丹下健三(1913-2005)が設計し、つり屋根構造が特徴となっている「船の体育館」の愛称で親しまれてきた、1964年建築の旧香川県立体育館(高松市)の解体について、香川県は請負事業者と本契約を結んだ。老朽化と耐震面の問題から2014年9月に閉館して、ホテル等の再生プランも検討されてきたが、香川県は2023年2月に解体の方針を決定。2023年5月に、解体工事の設計業務に関する県が選んだ12社による指名競争入札が行われましたが、11社は、事前に辞退届を出すなどし不調に終わっていた。今年2月には調査費を含めて解体費12億円(うち工事費は約11億円)が県の予算として計上され、2026年に着工し27年に解体される見通しとなっている。2017年にはアメリカのワールド・モニュメント財団から、緊急に保存が必要な「危機遺産リスト」に登録され、建物を保存するよう求める活動が市民や建築家によって行われ続け跡地の使い道は決まっていない。

過去の環境リスクPressはこちらから

環境リスク.COM

<https://www.kankyorisk.com>

【発行】 アスベックス株式会社

〒194-0023 東京都町田市旭町2-7-8

[TEL]042-726-0744

[FAX]042-726-0726